

「ふるさと余市を考える」

余市町立西中学校長 豊田 一正

今年は秋が訪れなかったようにも感じます。最近は降雪も見られ、いよいよ冬将軍が近づいてきました。この時期は、寒さに身体が慣れていないこともあります。インフルエンザの流行も早いようなので、体調管理には十分に気をつけてほしいと思います。

さて、「総合的な学習の時間」はどのような学習かご存じでしょうか。よく「総合」と呼ばれ、これから社会に対応し、よりよく課題を解決し、自己の生き方や考え方を育てる学習です。西中学校では、各学年のつながりを持たせながらキャリア教育やふるさと教育などを行い、学習の集大成として、3年生では『余市町への提言』を行っています。今年の3年生は地域コミュニティにスポットをあて、修学旅行の時には、地域のつながりや活性化に向けて「自分たちには何ができるか」をイメージし、震災後の復興に向けた地域の取組や大学訪問を行い地域貢献の在り方やボランティア活動について学習しました。また、余市町役場や消防署の方にご協力をいただき防災学習（段ボールベッドの組立等）や救急救命（AEDの取扱い等）に係わる学習も行いました。

提言に向けては、「町内会の現状調査」「イベント」「防犯」「防災」「SNSの活用」の5つのグループに分かれて学習を進め、地域の取組を踏まえながら活性化に向けた提案を考えました。今回、現状把握のために余市町の全ての区会にアンケートを依頼し、ありがたいことにほぼ全ての区会から回答をいただきました。また、実際に取材に行ってお話を聞き、沢地区の防災マップや防犯ステッカーを考案するなど意欲的に取り組んでいました。

提言の当日は、前坂教育長様をはじめ、区会長、学校関係、保護者の皆様など例年より多くの方の参加がありました。発表は、ブース形式で行い、直接質問や感想をいただくことができました。やや声が小さいグループもありましたが、自分たちが実際に見たり、取材をした中でしっかりと考えた提言になっていました。

参加された方から感想をいただいたので一部紹介します。



- とても良い発表でした。中学生が中学生の視点で町内のことに対する姿勢は素晴らしいです。今後もあらゆることに目を向け、良い中学校生活を過ごしてください。
- 生徒の独特的な考え方やアイデアなどもあり、とても楽しく参加させていただきました。具体的な提言で大変良かったです。ありがとうございました。
- とても参考になる発表でした。我々、区会活動の中で、このようなことを数字で知る機会がないので、勉強になりました。
- 中学生が町内会に関心を持っていることがとても新鮮でした。ありがとうございました。
- 町に参画する中学生はとても頼もしく、立派だったと思います。

生徒たちにとって、変化の激しい今の時代に目の前にある課題を自分事として考え、自ら進んで解決していく機会がこれから増えていくのではないかと思います。また、自分が育った余市町のことを知ることや考えることは大切なことだと思います。

最後に、前坂教育長からは「毎年、『余市町への提言』を楽しみにしています。今年も期待を裏切らない内容で、発表の方式も良かったと思います。今後も地域とのつながりを大切にしてほしい。」というお話をいただきました。

生徒たちは頑張っていました。今後多くの保護者の皆様に学校へ来ていただき、生徒の様子や学校の雰囲気を感じていただきたいと思っています。12月11日には参観日・懇談会がありますのでどうぞよろしくお願ひいたします。